

社協だより 萩

Vol. 41

2011
12/1



**しあわせを届ける
歳末たすけあい募金**

市内の障がい者施設・団体の年末年始の行事や生活困窮世帯、在宅介護者へ配分しています。仲間や家族でクリスマスや餅つき、年越しをあたたかく過ごすために使われています。このように、皆さんから寄せられたあたたかい気持ちは、萩市の人々に届けられ、皆で支え合う地域づくりへとつながっています。ご協力お願いします。





はじめよう

認知症予防・脳の健康楽習会

現在、認知症予防について様々な活動や研究が全国各地で行われ、今年9月には、鳥取県で第1回日本認知症予防学会が開催されました。こうした中、本会では「脳トレ」でお馴染みの東北大学・川島隆太教授らによって開発された教材を用いて、認知症予防教室として「脳の健康楽習会」を開催しています。ぜひ一度この楽習会を見学され、認知症予防について考えてみましょう。

脳の健康楽習会とは

簡単な読み・書き・計算の学習を継続的に行うことで認知症の予防に効果があることが、川島教授らの研究により明らかになりました。

脳の健康楽習会は、人前で発表したり、難しい問題を解く勉強会ではありません。スラスラ学習でき、楽しい会話が飛び交う「楽習会」であり、脳を鍛え、トレーニングする方法を習い、「習慣」にするための教室です。

毎週月曜日の午前中に教室（楽習会）に通い、残りの6

日間は、10分程度でできる教材を自宅で行います。楽習会では、楽習サポーターの方の支援で学習することも勿論ですが、お菓子やコーヒーを片手に楽しい会話が飛び交っています。新しい友人もできるなど、楽習

会を通して新たな人とひととのつながりも育まれていきます。



脳を鍛えるポイント

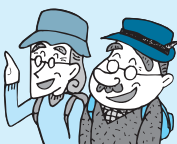
「読み書き」と「計算」

- ・新聞などの短い文章を音読する
- ・日記、メモ、手紙を書く
- ・カレンダーの日付を足す
- ・信号待ちで車のナンバーを足す



人とのコミュニケーション

- ・外出して友人、知人と交流する
- ・家族と積極的にお話をする



手指を使って何かを作る

- ・料理をひと工夫する
- ・調理だけでなく、献立を考えたり盛りつけをする
- ・楽器の演奏をする



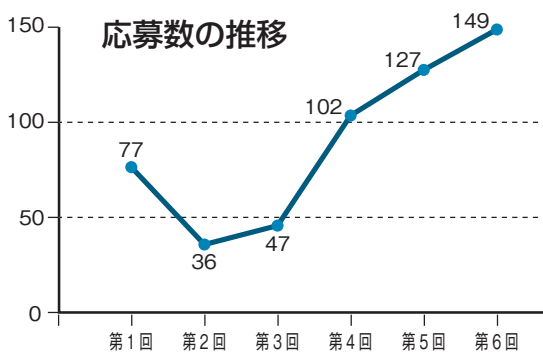
- ・楽習者(参加者)41名
- ・楽習サポーター28名
(楽習者の学習支援を行うボランティア)
- ・楽習会の日時...毎週月曜日の9時～、10時～、11時～
(祝日等は休み)

第6回入賞作品決定! しあわせ写真コンテスト



このコンテストは、写真を通して世代間交流、仲間づくりや生きがいに取組むとともに、市民の皆さんの積極的な地域の福祉活動への参加を推進しようとするものです。

7月1日～8月31日までの間に、日常の生活の中にある笑顔、ふれあい、助け合い、交流など、しあわせ（福祉）を題材とした写真を募集しました。今年は18～92歳までの91名の方から149作品の応募があり、応募者・応募数ともに過去最多でした。たくさんのご応募、ありがとうございました。



中原洋士さん



藤井恵子さん



齊藤富美代さん



矢田部昌司さん



國光峯代さん



河名正子さん



平田美代子さん



長瀬浩治さん



山田弥一さん



田中光恵さん



西村隆男さん



内海敏文さん



阿武静恵さん

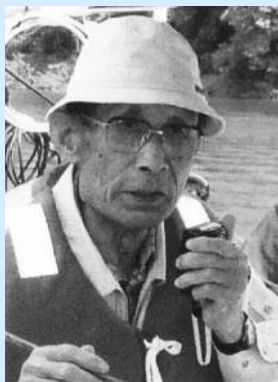
平助・権太を語り継ぐ

宇田川 憲吾さん
(川上・遠谷／78歳)

今年は、江戸時代後期に薪炭百姓一揆で犠牲になった義民・平助と権太の殉難200年にあたり、4月に有志で慰霊祭を行いました。

かつて、川船で薪炭を運び生計を立てていた農民にとって、水量が減って船が通れなくなるという水車の存在は大きな死活問題でした。そんなとき彼らは、堂々と自分の考えをはっきり訴え、村人を救ったのです。こうしたことを分かりやすく伝えるために、児童生徒には、自分で作ったパネルを使って説明してきました。

村人の代わりに犠牲になってでも村を守った平助と権太のことを、義民として今後も永く敬意と感謝の念をもって語り継いで行きたいと思っています。



近所同士で支え合う

藤本 静恵さん
(むつみ・殿川／69歳)

雪に覆われる長い冬の閉じこもり予防のため、5年前からサロンを始めました。

年長者の方からは、こんにゃくや豆腐の作り方を指導していただき、学ぶことがたくさんあります。また、手芸などは作りやすいものにするなど、皆で知恵を絞り、お互いに支え合いながら楽しい時を過ごしています。これからは、若い方や男性もサロンに入り、仲間がたくさん増えればいいなと思っています。

近頃は、ご近所の高齢者宅で、夜中まで電気やテレビがついているところがあると気になって訪問したり、「元気がないな。」と感じる方に声をかけたりしています。

近所同士で見守り、声をかけ合うことの大切さを感じながら、サロンの仲間といつまでも元気で楽しく過ごしていきたいと思っています。



自分磨き

刀禰 厚子さん
(萩・西田町の2／70歳)

私は、9月から「脳の健康楽習会」にサポーターとして参加しています。楽習者を励まし、褒め、日常生活の話し相手をさせていただき、また談話室でのひと時は、趣味や家族のこと、食事、旅行など話がつきません。そして、皆さんから「この教室に来るのが楽しみです。」と聞いたときは、うれしく思います。

以前から、認知症の予防には大きな関心がありました。私自身、妹が若年性認知症になり、家族も自信と誇りを失って暗い生活を送っていることを知り、何とか手助けすることはないかと思っていました。そんなとき、友人から認知症についての研修会に参加してみないかと誘っていただいたのが、きっかけでした。勉強したことを思い出し、自分磨きをしながらか楽習者の支えとなれるように努力していきたいと思っています。



地域で子育て

石永 治平さん
(須佐・中津／80歳)

毎年、老人クラブと生活改善実行グループ連絡協議会、育英小学校とで田植え、稲刈り、餅つきを通して交流しています。

田んぼに入る子どもたちは、気持ち悪そうな顔、楽しそうな顔、全く変わらない顔など様々で、そんな様子を見ると皆の顔もほころびます。

一生懸命植えた稲がよく育ち、10月には稲刈りをしました。高学年になるほど鎌の扱いも慣れてどんどん刈り取っていくので、束ねるのが追いつかないほどでした。今年は、もち米が豊作で、今から餅つきが楽しみです。

今では珍しくなった昔ながらの方法で、子どもたちと一緒に私も楽しく活動させてもらっています。今後も、地域全体で子どもの成長を見守っていかたいと思っています。



福 栄



紫福地域福祉活動推進
委員会で、地域巡回バ
ス（ぐるっとバス）の
利便性について協議し
ました。

須 佐



須佐中学校3年生と老人クラ
ブの方とのふれあい交流会。
将棋やお手玉、百人一首など
を一緒に楽しみました。



旭



上長瀬の氷室

佐々並長瀬で「ある
もの探し」を行いま
した。歴史的遺産や
暮らしの中で受け継
がれてきたことなど、
集落の宝物の再
確認ができました。



田 万 川



小川小学校6年生
6人が、車イス・
アイマスク・高齢
者擬似体験に挑戦。
やさしさと思いや
りの大切さについ
て、学習しました。



川 上



ひとり暮らし高齢者
のふれあい会食会。
振り込め詐欺などの
防犯について学んだ
り、レクリエーショ
ンも行って楽しみま
した。

萩



おいでませ！山口大会
の「ふれあい広場」。多
くのボランティアの協
力で特産品をふるま
い、障がい者施設や個
人の作品展示など、おも
てなしを行いました。



善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

本人の承認を得たもののみを掲載しています。
指定寄付は、掲載していません。
※平成23年9月1日～10月31日受付分（敬称略）

ご芳名 萩	ご住所	備考	寄付額
田口 清美	見島12区	母／良子	金一封
守永 光照	見島10区	父／修助	金一封
松原 又市	大島赤穂瀬先	父／晃	金一封
松浦 正明	相島中	母／ミツエ	金一封
山川 豪久	後小畑の2	母／益代	金一封
古谷 栄規	大井港浜の2	父／守	金一封
富田 梨枝	東京都港区	母／千壽子	310,000円
西田 俊彦	無田ヶ原の1	父／和彦	金一封
末岡 栄治	川島3区の1	父／勇	金一封
金子 充治	三見浦4	母／ツヤ子	金一封
林 洋二	浜崎1区の1	兄／博	金一封
柴田 貢	前小畑1区	母／秀子	金一封
村上 俊道	三見河内	母／キクコ	金一封
萬屋 修	倉江の2	母／はん	金一封
永照寺	中小畑の2		200,000円
早川テル子	土原1区の3	夫／清	金一封
多田 宏子	堀内1区の3	夫／國義	50,000円
恵木 昭子	浜崎3区の2	夫／節夫	金一封
山本 貞明	土原3区の1	父／信夫	金一封
野村 英治	川島2区の2	母／マア	金一封
中村 哲	前小畑1区	母／里子	金一封
貞光 謙	無田ヶ原の3	父／俊一	金一封
杉山 貞子	川島3区の1	夫／純一	金一封
藤原 浩文	平安古東区の3	父／優児	金一封
田中 義信	玉江浦1区の3	妻／道子	金一封
兼本 初音	玉江3区	夫／恒男	金一封
堀 郁子	樽屋町	夫／良留	金一封
久保田一朝	笠屋	妻／キミ子	金一封
幸坂 幸子	御許町の2	夫／幾助	金一封
田村 尚之	椎原の1	母／トミ子	金一封
磯部小夜子	玉江浦2区の2	夫／義一	金一封
岡村トキコ	熊谷町	夫／茂作	金一封
寺田 博志	玉江浦1区の1	妻／良子	50,000円
綿屋 稔	堀内1区の2	父／一夫	100,000円
松浦 有記	大井土井	母／トキエ	金一封
長谷登茂子	樽屋町	母／陸奥子	金一封
竹中 一男	椎原の2	父／忠男	金一封
竹下 道和	大島赤穂瀬前	父／佳亨	金一封
岡本 尚	江向2区の1	父／郁男	200,000円
河村 浩次	川島1区の1	父／稔	金一封
吉賀 崇之	前小畑1区	父／晶司	金一封
吉岡龍太郎	西木間	父／豊達	金一封
永田 俊信	大井七重	父／信雄	金一封
柴田 和則	江向1区の3	母／シゲヨ	金一封
紺藤 美和	中津江の2	母／初枝	金一封

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
郷田 正則	中津江の1	妻／宣子	金一封
川 上			
岡 幸子	横坂	夫／俐	金一封
田 万 川			
田邊 文代	江津	夫／博	金一封
石津 勉	松崎	母／長子	金一封
松原美智子	戎二	夫／文夫	金一封
須郷 覺	小川16区	妻／歌子	金一封
古和 達子	小川11区	母／イシ	金一封
横川 久輝	湊	母／邦子	金一封
宮内 保房	八幡	母／ゆき子	金一封
森田サカエ	松崎	夫／定一	金一封
金山 浩	益田市久々茂町	母／みち江	金一封
む つ み			
高橋 重明	長尾	父／芳正	金一封
藤本 昌紀	吉部殿川	母／シヅ	金一封
中村 健治	小国	父／文人	金一封
川渕 清子	広瀬上	夫／好松	金一封
栗田 紀司	金谷	母／アサ子	金一封
吉岡 憲弘	横坂	母／イサヨ	金一封
種子 豊	岡田	母／克子	金一封
須 佐			
井上 実	益田市久代町	母／トモヨ	金一封
本尾 信雄	野頭	母／ハナ子	金一封
立野 正美	山口市平井	妹／シヅコ	金一封
餅山 良一	浦中	父／眞久	金一封
鈴川ミヨ子	入江	夫／竹三郎	金一封
末永 徳行	弥富11区	母／幸	金一封
西崎 正隆	浦西	父／七郎	金一封
松原 逸子	松原	夫／信一	金一封
西崎 正隆	浦西	母／チエコ	金一封
旭			
山根 猛雄	上市	父／進	金一封
土山 康夫	原	父／喜代治	金一封
渡辺鍊三郎	深瀬	母／マス子	金一封
小林 庸子	高津	夫／康彦	金一封
金子 勇	下市	父／安忠	金一封
中村扶之男	原	母／カツエ	50,000円
片山 重明	大下	妻／文江	金一封
植村 暁雄	蔵屋	母／絹枝	50,000円
福 栄			
岩武 和子	平原	夫／三吉	金一封
金子 博忠	平蔵	母／繁子	金一封
永安香代子	東宗	母／内田ソメヨ	金一封
安野 寛志	小西見	父／賢一	金一封
金子 清美	半田	母／長子	金一封

一般寄付

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
萩			
匿名			5,000円
匿名			1,230円
山口銀行萩支店行員一同			125,000円
川上			
山根ヨリ子	川上山田		金一封

(香典返し・一般寄付合計 87件4,706,580円、内指定寄付 25件1,030,000円)

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
田万川			
須山 親友	小川18区	見舞返し	金一封
旭			
村田 幸重	角力場		金一封

物品寄付

内容	ご芳名	ご住所
萩		
車椅子2台	山口トヨペット株式会社	
ポータブルトイレ、紙おむつ、押し車	杉山 貞子	川島3区の1
旭		
紙おむつ・はくパンツ他	匿名	

内容	ご芳名	ご住所
福栄		
米30kg	岡 敦子	永井

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

高齢者虐待防止研修会

高齢者虐待に関して理解を深め、高齢者や介護者を見守り、支え合う地域のあり方について皆さんと一緒に考えましょう。

- 日時 1月29日(日) 13:30~15:30
- 場所 サンライフ萩
- 入場料 無料
- 講演 「地域の笑顔は『元気がいねえ!』
の一声からPart2」
山高正義氏(山口県社会福祉士会権利擁護
センター「ばあとなあ山口」運営委員)
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

歳末たすけあい募金の配分申込受付

歳末たすけあい募金の配分の申請を受付けています。

- 配分対象及び配分予定額(生活保護受給世帯は除く。)
- (1)生活困窮世帯・準要保護世帯
1世帯5,000円、1人につき3,000円
※民生児童委員、教育委員会に照会します
- (2)在宅介護者 5,000円(現在、次の家族を在宅
で6ヶ月以上介護している主たる介護者)
- ①要介護4・5 ②身体障害者手帳1・2級
③療育手帳A ④精神保健福祉手帳1・2級
※被保険者証または手帳の写しを添付
- 申込締切 12月9日(金)
- 交付時期 12月19日(月)~12月26日(月)
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

交通遺児払出金の申込受付

萩市善意銀行では、交通遺児への寄付金の払出申請を受付けています。(12月9日(金)まで)

- 配分対象及び配分予定額
18歳未満の交通、海難、航空遺児のおられる世帯
1世帯5,000円、1人につき5,000円

エコキャップ集計結果報告

萩社協では、「ペットボトルのキャップを集めて、世界の子どもたちにワクチンを届けよう!」という運動を応援しています。たくさんのご寄付ありがとうございました。引き続き、ご協力よろしくお願いします。

H21.5~H22.10 18,563個 ワクチン23人分
H22.11~H23.8 58,500個 ワクチン73人分

- 萩社協では、清涼飲料水のペットボトルのキャップが対象です。他の物を混入させないでください。
- シールをはがし、洗ってからお持ちください。

編集室

2年前、「私たちは今、エコキャップを集めています。回収箱を窓口に置かせてください!」と、ガールスカウトの子どもたちが一生懸命に話していたことを覚えてしています。

その後、活動はたくさんの方々には広がり、小さなキャップ、一人ひとりの少しずつの協力が集まり、大きな力となりました。発展途上国など、約100人分もの子どもたちにワクチンが届けられたことは、国境を超えたすばらしい贈り物になったと思っています。(た)



感で撮る

高齢者写真教室「シャッターチャンスほほえみ」

代表 西元 勇

「寒いね」と話しかければ
「寒いね」と答える人の
いるあたたかき

秋が深まり、冬の足音が聞こえてくると必ず思い出すのは、人それぞれに自分なりの「心の風物詩」があるということ。それは、歌であり、音楽であり、ふるさとの原風景であります。

「シャッターチャンスほほえみ」の風物詩は、前述の俵万智さんの一人よりも二人、二人よりも三人と広がる温かい笑顔の「歌」です。認知症予防・転倒予防・老化防止にカメラの趣味を活かして健康づくりの先兵になろうと会員32人（平均年齢84歳、最高齢は98歳）が、日々新たに自助、共助を大切に頑張っています。

感じて撮る 毎月一回の定例会のほか、野外撮影会や毎年春と秋に作品発表会を開催して「感じて撮る」の実践に努めています。特に、市外へ出かける野外撮影会は好評で、すでに県下をくまなく回りました。その車中の会話の中には「感じて撮る」の意味が隠されており、くすかにこぼれる光を大切に作る姿勢は、芸術性を高め、楽しい結果を生むと信じています。こうして生まれた作

品は、市内の福祉施設の癒しの空間に展示させていただいています。

フォト五七五 これもまた、会として力を入れている作品発表会です。作品に十七文字のコメントを添えることが約束事です。写真は、多くの情報が詰まった読み物といえます。したがって五七五は、鑑賞者に情報を正しく読んでもらうための助け舟です。また、作者からいえば頭の体操であり、認知症予防の良薬ともいえます。十七文字の言葉と写真から「ふるさとの美しさ」を再確認する場として、市民の皆さんから拍手をいただいています。

やまぐち生涯現役社会づくり章受章 平成13年に誕生した会は今年、記念すべき十周年を迎えました。10年の歩みの集大成として、会員が持ち寄った心を鼓舞する言葉を、集めた応援歌を創作しました。11月13日、やまぐち元気フェアでの受章は、グループの部として萩市では初めてと伺っています。会員一同これを機に、ますます感性を磨き、地域へ恩返しをしたいと張り切っています。

